

ぼくのパソコンが「」ろをもっちゃった

「パソコンはたのしいな」

いつものようにパソコンであそんでいるツクルくん。

キーボードをつつたびに、いろいろな「」きをするパソコンに、ツクルくんはワクワクです。

「パソコンってものす「」く、あたまがいいんだな」

パソコンであそぶたびに、ツクルくんはいつもそうおもいます。

そのとき、「」からか、「」えがき「」えてきました。

「きみがツクルくん？」

なんとその「」えは、パソコンからでした。

「ぼくのなまえはパソコン。パソコンくんってよんでね」



ツクルくんは、おどろいたままです。

「いつもパソコンを、たいせつにつかってくれてありがとう。きみはパソコンがすきなんだね。」

ツクルくんは、すぐに「たえます。」

「うん、だいすき」

「ありがとう、そんなやさしいきみにおれいだ。ぼくのなかみをしっかりとみせて、どのようにつづくか、おしえてあげる。」

ツクルくんは、きょとんとします。

「ぶっぶっぶっぶっ。」

「じゅんじゅんじゅん。」

とっぜん、パソコンがバラバラになりました。

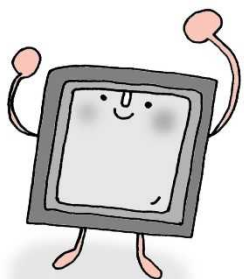
「さあ、ぼくをいちからくみたてて、なかみをおぼえよう！」



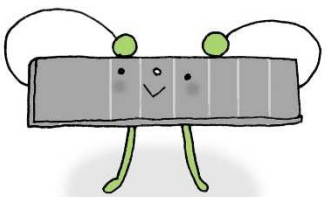
さあ！
これがぼくのなかまだ！

うわあ！ビックリした！

「まあ、ぼくのなかまたちをしようかいするね。」



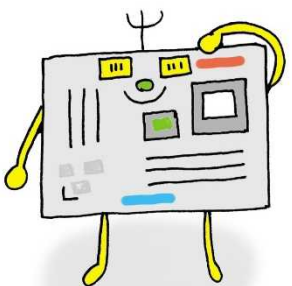
シーピーユー



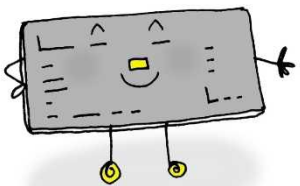
メモリー



ハードディスク



マザーボード



キーボード



マウス

「えっ…これだけ？」

ツクルくんはおどろきました。もっとむずかしいきかいがたくさんあるとおもったからです。

「そう、ほんとうにこれだけなんだ。」

パソコンくんは、ツクルくんに「たえます。」

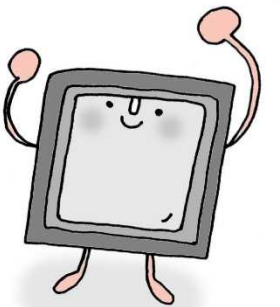
「いいかい、これはパソコンにかぎらないよ。どんなむずかしそうなきか
いもバラバラにしてみました。おどろくほどかんたんな
しくみでびりたりたつてくるよ。」

「あ、でもおぼえられるよ。」

「もちろん、だれにでもおぼえられるよ。」

それでは、まずは「シーピーユー」くんから紹介して「マウス」

「ぼくのなまえはシーピーユー。ぼくのやくめはパソコンのあたまになり、けいさんをおこなうことだ。」



シーピーユー

ツクルくんはかんしんしました。

「へえ、きみがけいさんをしているのか。あんなにむずかしいけいさんをするなんて、きみはとてもあたまがいいな」

ツクルくんがいうと、シーピーユーくんはぶんぶんとかびをふりました。

「とんでもない！ぼくは**1と0**しかわからないんだよ。

しかもぼくは、**たしざん、ひきざん、かけざん、わりざん**しかできないんだよ。つくるくんのほつが、よっぽよあたまがいいな」

ツクルくんはおどろきました。

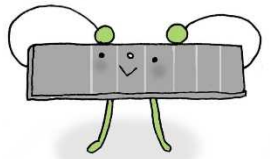
「まさか、あんなにむずかしいけいさんをもつくはやくやっているの？」

「それは、むずかしいけいさんを、すべて0と1にして、すばやくやればけいさんしているからだよ。」



0と1！
これがぼくのすべてさ！

「やっぴぎは、ぼくのしょうかいかな。
ぼくのなまえはメモリーだ。ぼくのやくめはシーピーユーくんが、けい
さんするためのデータをすしのあいだおぼえておくことなんだ。」



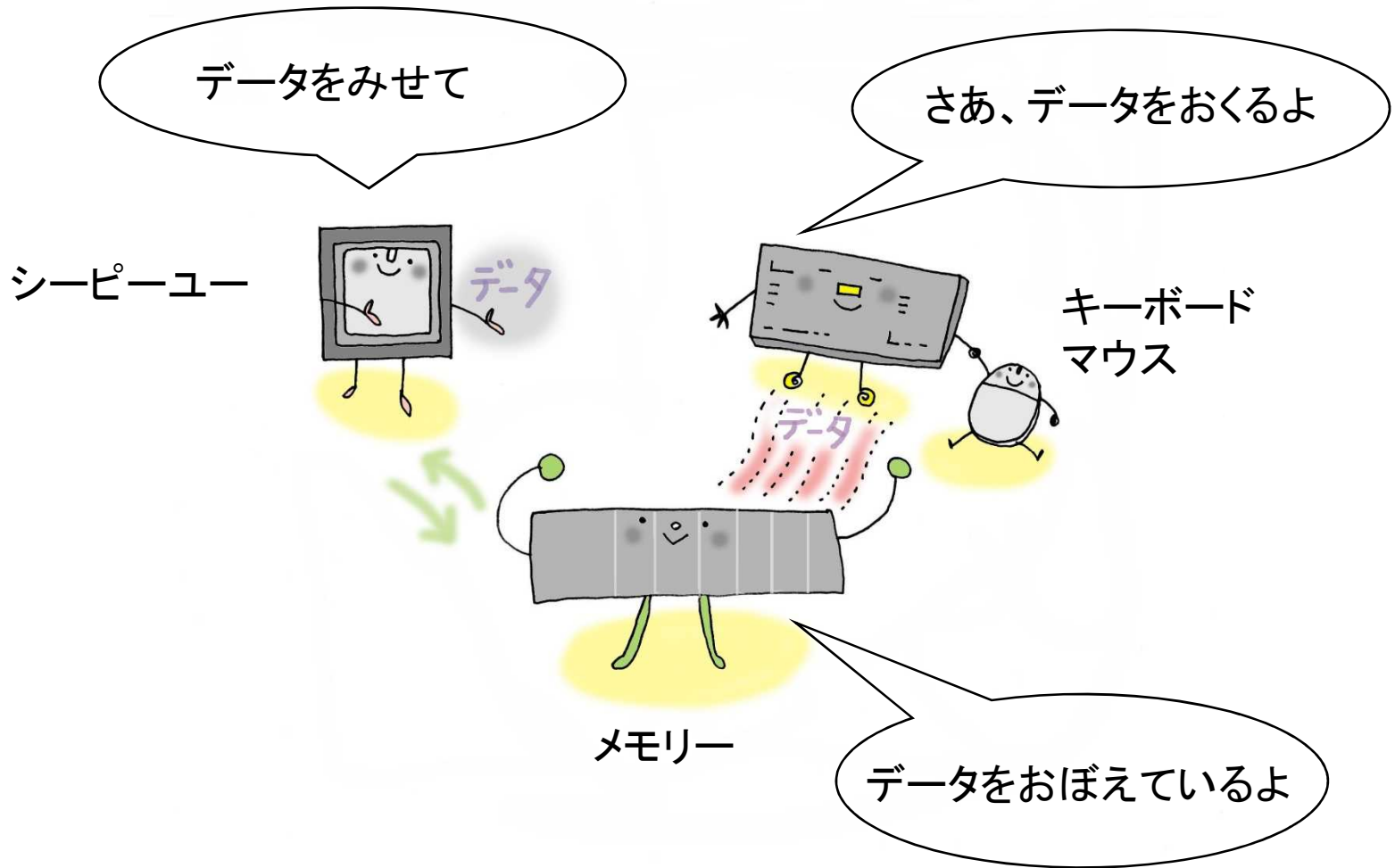
メモリー

ツクルくんはかんがえます。

「そのデータは、どうやってここにいれるの？」

「きみがいつもつかっているマウスやキーボードからさ」

「そうか。それらがメモリーくんにつたわっているんだね。」



「そしてぼくのなまえは、ハードディスク。じっさいにツクルくんがつくったデータをほぞんするばしょよ。」



ハードディスク

ツクルくんは、かんがえます。

「メモリーくんには、データをほぞんしないの?」

ハードディスクくんはかんしんします。

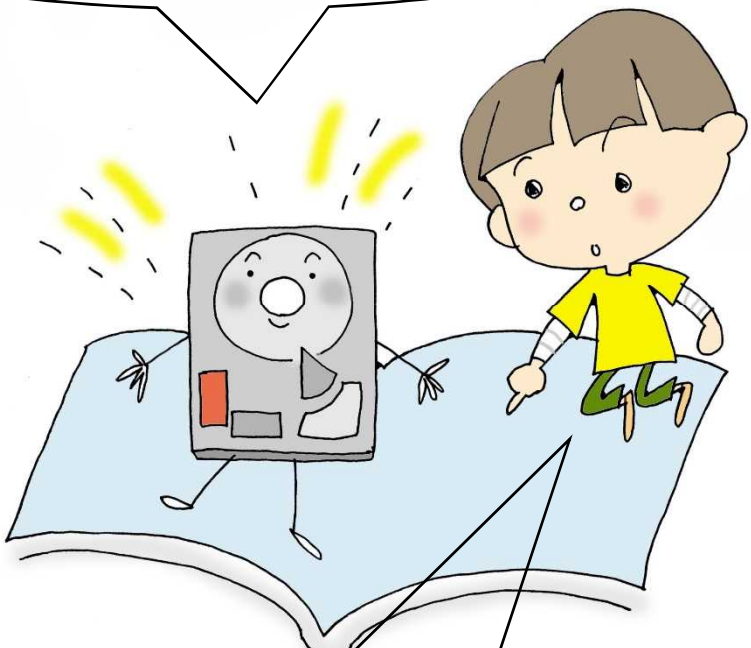
「いいいつもんだね。メモリーくんにはほぞんするデータは、シーピーユーくんのけいさんにひつようなデータのみだ。それもすこしのあいだけ。ぼくのやくめは、つくるくんがつくったデータのかたまり、たとえばファイルとかをほぞんすることなんだ。」

ツクルくんは、はっとひらめきました。

「そうかーシーピーユーくんとメモリーくんは、にんげんでいうあたまだとしたら、きみはノートのようなやくめなんだね。」

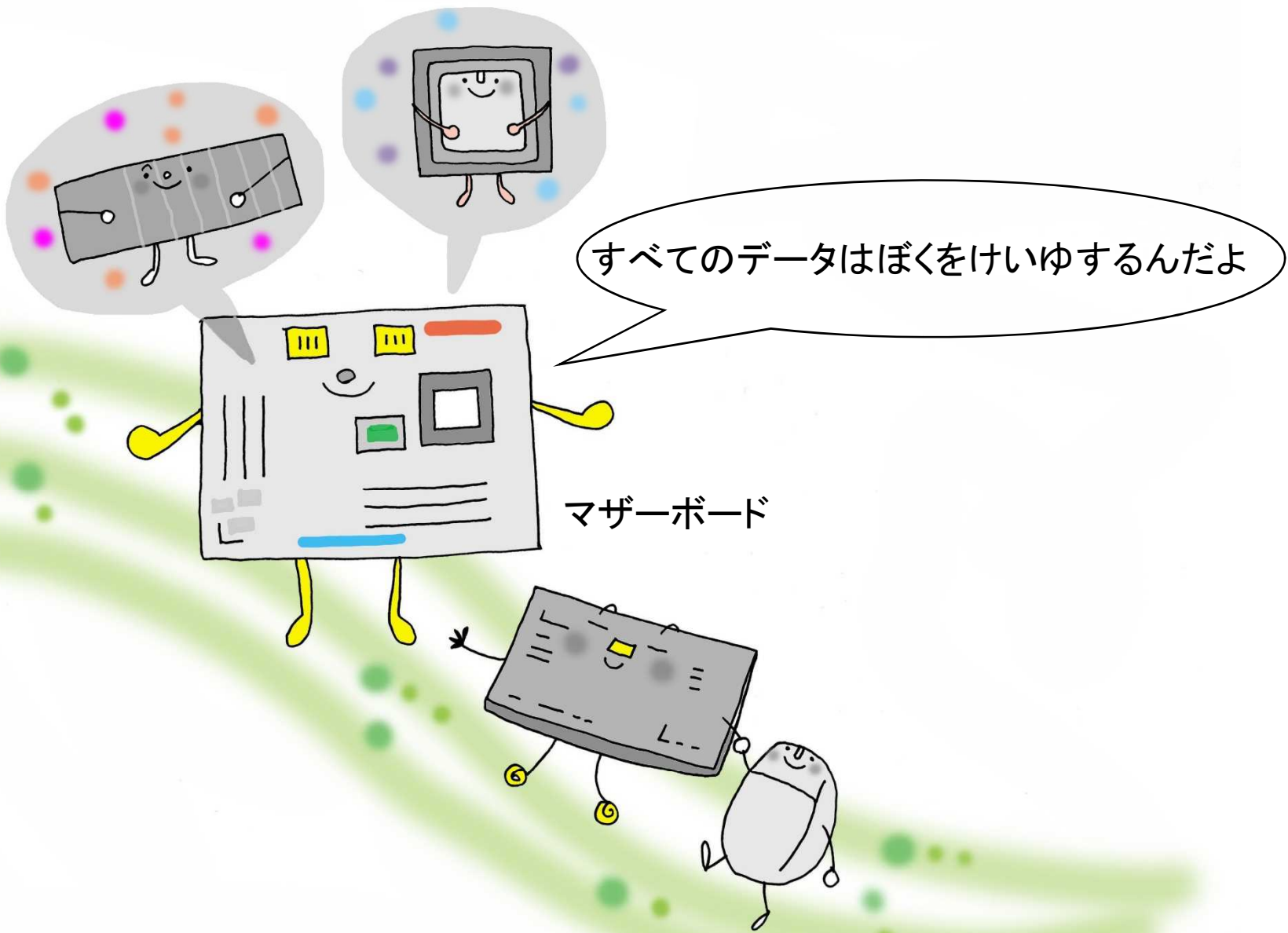
「そのとおおりー」

ずっとのこすデータは、ぼくにほぞんされるのさ



きみはノートのようなそんざいなんだね

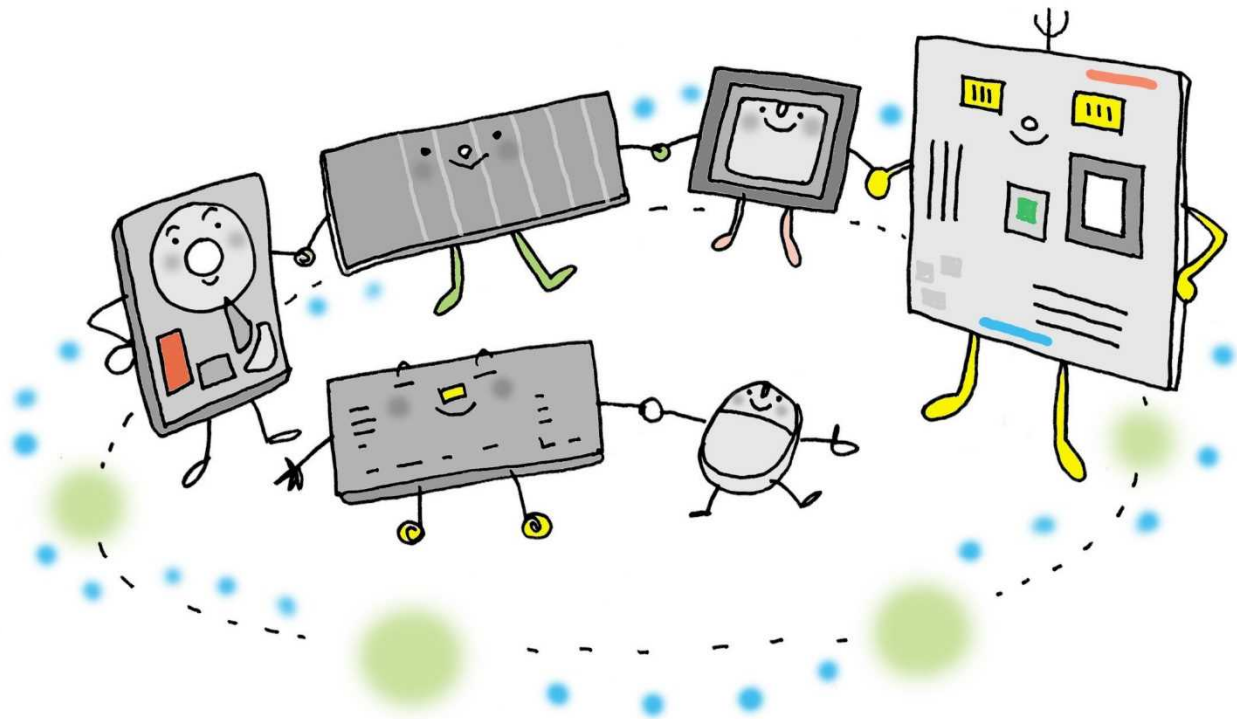
「どうもこんにちは。ぼくのなまえはマザーボード。
ぼくのちくめはここだ。ひつはジューピーユーくんとメモリーくんをの
せるじよ。もうひつはマウスくんやキーボードくんからのデータを、メ
モリーくんとジューピーユーくんにつたえるじよだよ。」



パソコンくんがやってきました。

「よし、ツクルくんままとめてみようか。パソコンのなかみというのは、マウスくんやキーボードくんからやってくるデータを、メモリーくんがいてちびてきにうけとめ、そのデータをシーピーユーくんがつかってけいさんする。これこそがパソコンのなかみであり、そのなかみでおこなわれていることのすべてなんだ。」

ぼくらはすべてつながっている！



パーツくん、ありがとう！
これからもたいせつにつかうね



ツクルくんはだいまんぞくです。

「ぼうちりだよ。パソコンのなかみがわかったよ。さいしょはすくくむむずかしいことをおこなっているとおもっていたけど、ひとつひとつでみるとじょうにかんたんなんだね。」